

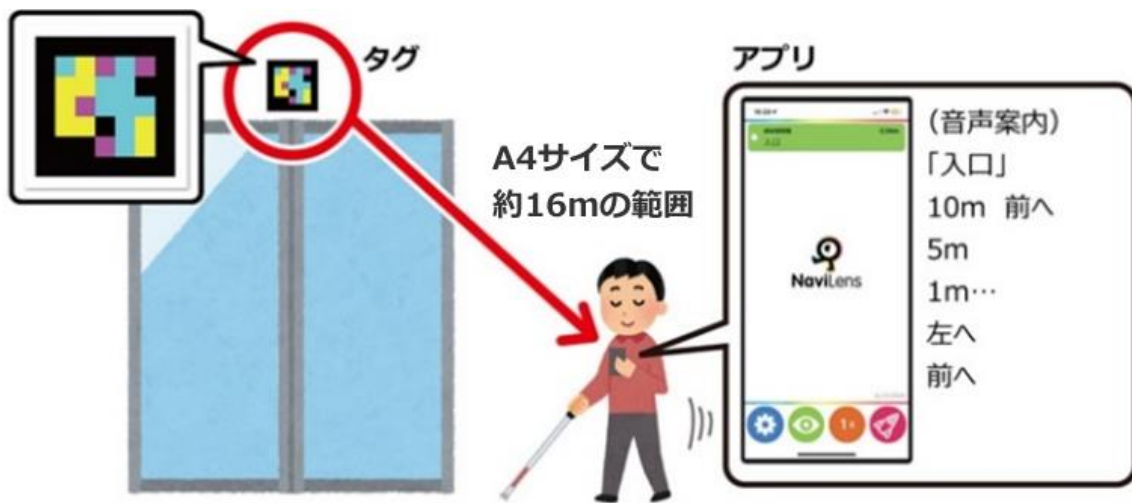


神戸空港 視覚障害者支援アプリの実証実験を実施 ～更なるお客さまサービスの向上を目指します～

関西エアポート神戸株式会社は、2023年9月28日より視覚障害者支援アプリ「NaviLens」^{※1}の実証実験を実施することをお知らせいたします。

今回の実証実験は、神戸空港ターミナルビルの館内に二次元バーコードを設置し、スマートフォンのカメラを使用して二次元バーコードを読み取ることで、視覚障害者の方を「神戸空港ターミナルビル」～「ポートライナー神戸空港駅」までご案内できるかを検証いたします。たくさんの方で混雑している空港において、スマートフォンアプリによる音声案内にて視覚障害のある方でも単独歩行できるようになれば、視覚障害者の方がより安心・安全に空港をご利用いただける一つの契機になることを期待しています。

関西エアポートグループは、最先端技術の本格導入に向けた実証実験を積極的に取り組み、空港の利便性向上に努めるとともに、安心・安全で快適な新しい旅の体験をご提供いたします。



イメージ図

【概要】

- 期間：2023年9月28日（木）～ 2023年12月31日（日）
- 場所：神戸空港ターミナルビル1階および2階
※ 二次元バーコードをターミナルビル1階：30箇所、2階：50箇所（玄関、階段、EV、ALカウンター、トイレ、店舗など）に設置いたします。
- 内容：スマートフォンアプリを利用した音声案内によるルート案内
- 主催：NPO 法人アイ・コラボレーション神戸

※1 視覚障害者支援アプリ「NaviLens」について

スペイン発祥の視覚障害者用音声デジタル案内アプリです。各所に貼られている二次元バーコードを読み込むことで、目的地の内容・方向・距離などの案内が表示されるとともに音声で読み上げます。また、別アプリ「NaviLens GO」で二次元バーコードを読み取れば、矢印や文字（多言語対応）にて案内もできるため、海外では電車やバスなどにも導入されはじめています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel：072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンサルティング、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、<オリックス>という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13カ国において72の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構